

Perfect Honorific Master

パーフェクト敬語マスター 02

○ 敬語のグループ Honorific Word Groups

大きく分けると、敬語は3つのグループがあります。この本では、「尊敬語」と「謙譲語」と「ていねい語」というグループを使っています。

敬語	尊敬語 グループ	<p>相手のすることに使う。相手を高めて、直接的に敬意を表す。 Use when referring to actions performed by the listener. This raises the position of the listener and directly expresses respect.</p>
		<p>例) 「お/ご～になります」「いらっしゃいます」 「書かれる」など</p>
	謙譲語 グループ	<p>自分がすることに使う。自分を低めて、間接的に敬意を表す。 Use when referring to actions performed by yourself. This lowers your position and indirectly expresses respect.</p>
		<p>例) 「お/ご～します」「拝見します」など</p>
	ていねい語 グループ	<p>ことは全体の雰囲気をしていねいにする。文全体が、聞いている人にとってていねいに聞こえるようにする。 This makes all your speech seem polite. It makes everything you say sound polite to the listener.</p>
		<p>例) 「です」「ます」「～でございます」 「お手紙」「ご連絡」など</p>

目上の人に話すときは「あした」「友達」と言わないで、「あす」「友人」と言ったりすることもあります。これを、「改まった言い方」と呼びます。

There are times when you will not say “あした” or “友達” to superior, but say “あす” and “友人” instead. This is called “改まった言い方”(formal speech).